

(株)微酸性電解水研究所 FOOMA JAPAN 出展

FOOMA JAPAN 2014 国際食品工業展

2014 International Food Machinery & Technology Exhibition

6月10日～13日 東京ビッグサイト



「食の未来を探しに行こう。」をテーマに開催された「FOOMA JAPAN 2014」に、微酸性電解水研究所が出展。微酸性電解水生成装置を展示しました。今年で5回目の出展となる今回は、生成装置の他、手洗い用微酸性電解水自動水栓、スピード殺菌ユニットや、空気衛生管理のための噴霧装置を使ったデモを行いました。4日間の来場者は9万人を超え、微酸性電解水研究所のブースにも、多くの来客があり盛況でした。

微酸性電解水

濃度2～6%程度の希塩酸を電気分解した水。無味・無臭でpH5～6.5、塩素濃度10～30PPMの弱酸性。扱いやすく、高い殺菌効果がある。この微酸性電解水(+HOCL)は当社代表士井豊彦氏が発明し、2002年には厚生労働省第75号において「微酸性次亜塩素酸水」の名称で食品添加物に指定された。



株式会社微酸性電解水研究所 <http://www.bisansei.jp/>

ものづくり補助金に2社採択

平成25年度補正 中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業1次公募(二次締切り)の補助事業者に、スペースリンク株式会社と株式会社音力発電が採択されました。

WELCOME TO SFC-IV 見学・研修

パレスチナからの研修生

4月10日

パレスチナ自治政府から中小企業振興研修のため来日した研修生が、中小機構



のインキュベータ事業見学のため、SFC-IVを訪問。研修生はパレスチナの商工会議所、経済省などの5名。世良IMから施設および支援活動についての説明の後、施設を見学。その後、事業事例の紹介として、入居企業の微酸性電解水研究所と音力発電が事業の説明をしました。微酸性電解水研究所は、試作開発室で実際に微酸性電解水発生装置を紹介。音力発電は、「振力電池®」「発電床®」のデモを行い、研修生も実際に体験しました。パレスチナでも環境や省エネ対策など関心が高いようで、2社の事業も興味深く、活発な質問が出ていました。

新任IMご紹介

6月に北原IMから交代し小森IMが着任しました。

小森啓安(こもりひろやす)

公益財団法人湘南産業振興財団IM

半導体メーカー、北海道大学知的財産本部、NEDOフェロー、東京大学TLOを経て、2014年より現職。やらないで後悔するよりは、やってみて改善したほうが良いという楽観的な性格。ビジネスマッチング、企業間連携構築など営業、渉外関係を得意分野としています。Creativityを最大限に発揮して皆様と一緒に頭に汗をかきたいと思います。「こんなところにご紹介したいなどありましたら、一緒に提案に出かけましょう!」



SFC招待の海外高校教員

6月25日



1階会議室

SFCが招待した海外の高校教員の方々が、SFC-IVを訪問しました。台北、インドネシア、サンディエゴ、香港、バンコク、ソウルの高校から、主に進路指導を担当する教員8名で、SFCへの理解を深めるため、SFCの教育、研究、学生生活等を視察する中でSFC-IVを来訪。廣川IMが、SFC-IVの紹介、起業支援について説明し、SFCの大学院生ゴイ氏が研究テーマの日本のインキュベーションシステムについて説明しました。